

要 望 書

埼玉県核都市広域幹線道路建設促進期成同盟会

要 望 書

埼玉県は、東京の北に隣接し、常磐、東北縦貫、関越自動車道等の幹線道路は東京を中心とした放射状に形成されているものの、交通量の分散化を図るため、環状道路である東西交通網の整備が求められております。

首都圏の業務核都市を環状に結び、県南部を東西に連絡する核都市広域幹線道路は、令和3年7月に策定された関東ブロック新広域道路交通計画において、関越道から東埼玉道路までの区間が高規格道路の調査中路線に、埼玉県内関越道以西、東埼玉道路以东については構想路線に位置づけられております。

埼玉県の圏央道以南地域においては、東京外かく環状道路、国道16号、国道463号、国道298号等、東西方向の幹線道路で速度低下が顕著であり、交通容量が不足し、慢性的な交通渋滞が発生しております。

また、広域防災拠点であるさいたま新都心を経由する核都市広域幹線道路は、首都圏の広域的な環状道路を形成し、多重性・代替性のあるネットワークの確保が期待できることや、救援活動や物資輸送などの支援活動が図られる重要な路線です。

こうした状況を踏まえ、埼玉県の圏央道以南地域における慢性的な混雑を改善し、激甚化、頻発化、広域化する災害からの迅速な復旧・復興を図るとともに、中枢中核都市の経済・生活圏を相互に連絡し、

これらの交流・連携を促進する核都市広域幹線道路は、東京都心部を迂回する広域幹線道路として、首都圏の交通混雑の緩和にとっても有効であります。

つきましては、核都市広域幹線道路の計画の早期具体化が図られるよう、沿線市町と連携して取り組んでまいりますので、次の事項について、特段の御配慮をお願いいたします。

- 国において、核都市広域幹線道路の調査事務所などの専属プロジェクトチームを発足させ、事業を推進すること。
- 核都市広域幹線道路の埼玉新都心線から東北道付近までの計画の具体化のため、概略計画の検討を推進すること。
- 核都市広域幹線道路の埼玉新都心線以西、東北道以东については概略計画の検討を早期に着手すること。
- 道路の整備においては有料道路事業制度の活用やコスト縮減により、可能な限り公共負担の軽減を図ること。

令和7年11月5日

埼玉県核都市広域幹線道路建設促進期成同盟会

会 長 さいたま市長 清水 勇人

さいたま市長 清 水 勇 人

さいたま市議会まちづくり委員長 川 崎 照 正

春日部市長 岩 谷 一 弘

春日部市議会議長 小久保 博 史

越谷市長 福 田 晃

越谷市議会議長 畑 谷 茂

富士見市長 星 野 光 弘

富士見市議会議長 勝 山 祥

吉川市長 中 原 恵 人

吉川市議会議長 稲 葉 剛 治

ふじみ野市長 高 畑 博

ふじみ野市議会議長 加 藤 恵 一

松伏町長 高 野 祐 大

松伏町議会議長 田 口 義 博

三芳町長 林 伊佐雄

三芳町議会議長 細 谷 光 弘

埼玉県県土整備部長 吉 澤 隆